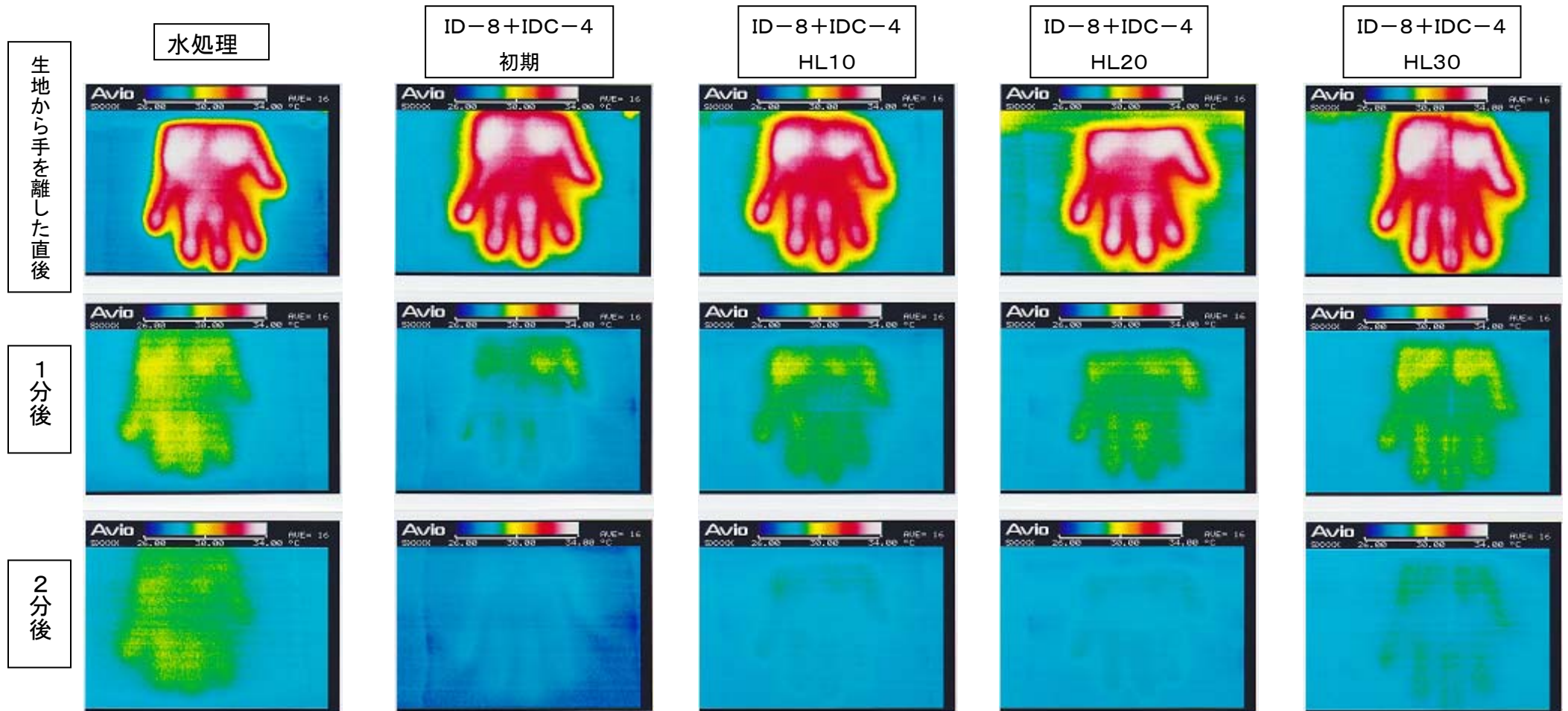


サーモグラフィーによる生地表面温度測定

試験方法 : 試験布の上に手を3分間置く。次に試験布から手を除き、直後と1分後、2分後のサーモグラフィー測定を行う。

試験結果 : 加工布と未加工布のサーモグラフィーの温度測定で、2分後の加工布の手形が未加工布と比べて消えていることから、冷感性があることが証明される。
これは手から自然状態で不感蒸泄が出ており、その水分とID-8との吸熱反応により体温が吸収されるためと考えられる。



試験試料 : 綿100%ニット

加工方法 : パディング処理、絞り率 78%、乾燥 110℃×2分、熱処理 160℃×2分

加工処方 : ①水処理

- ②
- パラクールID-8 5%soln.
 - パラクールIDC-4 2%soln.